



千葉東病院・淑徳大学看護学部フロアーコンサート開催によせて

各局のお天気情報番組が「今年一番冷え込んだ日」と報じた平成19年12月18日(火)に、「淑徳ハーモニークラブ」によるフロアーコンサートが、当院外来棟で初めての試みながらも盛大に行われました。

淑徳大学看護学部は、昨年4月に当院の敷地内に、「福祉のマインド」を持った看護学部として開設され、現在113名の学生が在学しています。平成22年には1年次生から4年次生までを合わせると400名ほどの学生が在学することとなり、「生活する人の健康と福祉をかなえる看護師の育成」という特色のもと、教育に力を注いでいる学部です。

8月には初めての病院実習を3日間行い、看護職への道を一步步歩んでいるところですが、今回はその中で約40名の学生さん達がこのコンサートを企画し参加してくれました。

早いお客様(入院患者さま)は開始15分以上も前から集まっ

て下さり、開始時には70名ほどのお客様方で会場が賑わったところで、トナカイとサンタクロース姿の司会者が現れコンサートが始まりました。山岸院長の開会のあいさつ後、合唱・ハンドベル演奏・手話を取り入れた合唱が披露されました。その中で「世界にひとつだけの花」の手話の部分に参加者全員で行うという企画には、患者さまも普段見せない笑顔で元気よく参加され、見ているこちらにも心温まる思いでいっぱいになりました。さらに手作りツリーのプレゼントという思い掛けない演出もあり、学生さん達の優しい気持ちが伝わる「今年一番心が熱くなった日」となりました。

参加して下さいました患者さま・淑徳ハーモニークラブの皆さん、本当にありがとうございました。また来年も企画しようと誓った筆者でした。

(副看護部長 石川 清美)

目次

▶ 千葉東病院・淑徳大学看護学部フロアーコンサート開催によせて	1
▶ 診療科の紹介	2
▶ 平成19年度結核研修会について	3
▶ 第35回千葉県透析研究会の開催	3
▶ 平成19年度 腎疾患政策医療ネットワーク協議会の開催	4
▶ 職員レクリエーションについて	4
▶ ～心と笑いの健康～ 落語家 林家たい平師匠を招いての講演会	5
▶ 食のお話	5
▶ 外来診療担当医表	6

小児科の紹介

小児科は、学校検尿、3歳幼児検尿・腎エコーの千葉市の精密検診指定機関となっており、また、千葉県内各方面の小児科・内科の先生方より多数の小児腎疾患患者のご紹介をいただいております。慢性腎炎、ネフローゼ症候群、慢性腎不全、その他の腎尿路疾患の早期発見・早期治療を念頭に、精密検査、確定診断、治療および生活管理指導までの一貫した小児腎疾患医療を行っております。

慢性腎炎・ネフローゼ症候群の確定診断に必須の検査である、



金本 勝義 小児科医師
松村 千恵子 小児科医長
倉山 英昭 副院長
安齋未知子 小児科医師

腎病理組織検査(経皮的針腎生検)は年間60~70例ほど行っており、安全に施行しております。併設される臨床研究センター免疫病理部の腎病理専門医により迅速かつ適確な病理診断が可能です。早期発見・早期治療により糸球体腎炎(IgA腎症・膜性増殖性腎炎・膜性腎症・紫斑病性腎炎etc)において優秀な治療成績を挙げております。特に、IgA腎症は学校検尿において最も多く発見される腎疾患で10万人に10人から20人の頻度で発見され、学校検尿による早期発見例にはほとんど腎不全例はありません。腎不全医療としては、透析センターが併設され、血液透析、血漿交換、腹膜透析(CAPD)を行い、移植外科チームとの協力体制により、腎移植(体重20kg以上の小児)も可能であり、万全の体制がとれています。

学齢期で入院を要する場合は、県立仁戸名特別支援学校(小学部から高等部まで)が隣接し、治療を続けながら安心して行き届いた学校教育を受けることができます。また、小児病棟では病棟専任保育士による入院幼児の保育も行っております。

重症心身障害児・者3病棟(120床)のうち2病棟80床の患者を小児科が受けもってその療育を行い、また、歯科医の指導による摂食機能向上訓練が積極的に行なわれています。バスハイク等の院外行事も積極的に実施されています。

小児腎外来は、月・木 午前8:30~11:00 午後1:00~2:00(午後は予約のみ)に行っていますが、各医療機関からの依頼は随時受け付けておりますので、いつでもご連絡下さい。

消化器科の紹介

最近何かと話題のC型肝炎ですが、血液製剤のために感染した方は約1万5千人と考えられています。一方、血液製剤以外が原因でC型肝炎に感染した方はもっと多く、日本中に約200万人いると推定されています。つまり日本人100人のうち2人がC型肝炎に感染していることとなります。C型肝炎ウイルスに感染すると多くの人が慢性肝炎となり、そのまま20~30年経ちますと肝硬変、肝臓癌まで進む事があります。ところが困った事に「だるい」という事以外は目立った症状がないため、よほど進行しないと症状が現れません。消化器科ではC型肝炎ウイルスを駆除する目的でインターフェロン治療をおこなっています。以前はなかなか

効かないと言われたインターフェロンも改良されC型肝炎の約半数の方で完全にウイルスを消す事ができるようになりました。是非、検診や主治医に相談するなど、ご自身がC型肝炎にかかっているかどうかチェックして下さい。

消化器の他の話題としては、胃・十二指腸潰瘍の原因であり、その研究者がノーベル賞を受賞した事でも知られるピロリ菌があります。消化器科では胃・十二指腸潰瘍がありピロリ菌が陽性となった方で除菌をおこなっています。また食道・胃・十二指腸の検査に経鼻内視鏡を導入しました。鼻からの胃カメラはおえっとなりにくく、胃カメラが苦手という方にお勧めです。

消化器科では慢性肝疾患(C型肝炎、B型肝炎、自己免疫性肝疾患、脂肪肝、アルコール性肝炎)や肝臓癌だけでなく胆嚢の病気(胆石、胆嚢ポリープ、胆嚢癌)、膵臓の病気(膵炎、膵臓癌)や胃腸の病気(逆流性食道炎、食道癌、胃潰瘍、胃癌、十二指腸潰瘍、大腸癌、過敏性大腸炎、潰瘍性大腸炎、クローン病など)についても診断・治療をおこなっています。手術が必要な方については当院の外科に依頼しております。

お腹に不安のある方は、是非、消化器科にご相談下さい。



小島 広成
消化器科医長

消化器科の最近の話題から

食道・胃・十二指腸の検査に鼻からの内視鏡もおこなっています。

胃・十二指腸潰瘍の原因がピロリ菌の方では除菌を勧めています。

C型肝炎では改良されたインターフェロンを用いて半数を超える方が治るようになりました。

B型肝炎に対する内服の抗ウイルス剤が3種類に増えたため更に強力な治療ができるようになりました。

肝臓癌に対しては、手術、ラジオ波焼灼療法、エタノール注入療法、肝動脈塞栓術など外科と協力して治療をおこなっています。

平成19年度結核研修会について



平成19年度結核研修会を、過日12月14日、当院で開催いたしました。この研修会は、結核医療の現状を理解し活用していただくために、国立病院機構において呼吸器拠点病院として教育及び情報発信を目的として、毎年多くの参加をいただき開催しているものです。今回は、当院呼吸器科医師川崎剛先生による「最近の中樞神経結核について」という臨床的講演の後、財団法人結核研究所対策支援部保険看護学科科長 永田容子先生による「日本版DOTSの推進に向けて」という、現在結核医療の根幹をなす服薬支援の理念と実際についての講演をいただき、看護師、保健師の参加者のみならず現場に携わる医療従事者の皆様に熱いメッセージをいただ

きました。最後に、財団法人結核研究所名誉所長、国立感染症研究所ハンセン病研究センターセンター長 森 亨先生によるご講演「感染症法下での新しい結核対策」において、近代化する結核対策の世界的な視野からみた問題点、本邦における結核予防法廃止感染症法統合による変革、「Stop TB Partnership」についてお話をいただき、新時代の総合的感染症対策について理解を深めることができました。100名を超える参加者の皆様方の熱意に応えられるよう、来年も研修会を開く予定ですので、奮ってご参加をお願いいたします。

(第三診療部長 佐々木 結花)

第35回千葉県透析研究会の開催

平成19年11月25日(日)幕張新都心の海外職業訓練所OVTAにおいて第35回千葉県透析研究会が開催されました。本年は当院と船橋二和病院に運営の依頼があり、当院からは40名の職員が研究会のお手伝いで参加しました。

千葉県透析研究会は日本透析医学会の地方会で、昭和52年から行われている透析医療全般の学術集会です。研究会発足から、医師のみならず透析医療に関わるすべての医療従事者のレベルアップを念頭に様々な職種の学術発表の場として継続されてきました。

今回も医師、看護師、検査、放射線、栄養士、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、工学技士など多職種から参加があり、本年度の参加者数は1,195人、演題数も102題と大きな研究会になりました。

また、研究会の活動には県内透析患者の現状調査があります。本年度調査によりますと県内の透析施設は149施設あり、透析患者総数は11,928人で昨年比で517人の増加でした。全国でみますと東京、大阪、神奈川に次いで4番目に多い県になります。

近年の導入傾向は、糖尿病性腎症や導入年齢の高齢化など治療困難な症例が多く、さらに透析患者総数も年々増加しています。このような状況下で透析医療に求められるのは、治療の質を向上させること、安全性を確保すること、そして資源設備を有効利用し増え続ける患者様に対応することにあり、本研究会でも上記の点につ

いて活発な意見交換がありました。

今回、研究会が無事成功に終わりましたのも、職員のみなさんの力強いご協力が得られたからであると強く感じています。受付会計を担当して頂きました事務部のみなさん、座長受付をお願いしました副看護部長、発表会場を担当した血液浄化センタースタッフのみなさん、託児所で頑張って頂いた保育士のみなさん、そして会場全体で活躍いただいた先生方、この場をお借りしてお礼申し上げます。日曜日の貴重一日、ご協力頂きありがとうございました。

(主任臨床工学士 川口 琢也)



平成19年度 腎疾患政策医療ネットワーク協議会の開催

平成19年11月15日(木)名古屋市のホテルキャッスルプラザにおいて、平成19年度の腎疾患政策医療ネットワーク協議会が開催されました。

この協議会は、千葉東病院臨床研究センターが中心となり行っている腎疾患政策医療ネットワーク研究の各国立病院機構等の分担研究者を招集し、研究報告及び年度計画を検討するための毎年恒例のイベントとなっています。

例年、国立病院総合医学会の開催に合わせ、同一開催地で行っています。本年度は、午前11時からの移植関連多施設研究合同会議を皮切りに各班会議の開催と協議会が行われ、午後5時からの腎ネットシンポジウム「腎疾患研究の現状と将来」を最後に延べ81名のご参加をいただき、滞りなく終了することができました。遠方よりご足労いただいた各国立病院機構等の分担研究者の皆様及び当院施設の関係者の皆様には、あらためて感謝いたします

とともに、今後の腎疾患政策医療ネットワーク研究へのご協力をお願い申し上げます。

(企画専門職 堀江 亮一)



職員レクリエーションについて

昨年、独立行政法人病院機構レクリエーション規程第6条に基づき、事務部長を委員長に各部署から10名の委員を選出しレクリエーション委員会を立ち上げました。

第1回委員会では、委員会の主旨説明を行い、職員の親睦を図るレクリエーション実施に向け話し合いを行い、まず職員に対してアンケート調査を実施することになりました。アンケート結果は、旅行、スポーツ、観劇等色々要望がありましたが、今回は日帰り旅行とボーリング大会を実施することとなり、日帰り旅行については数カ所の候補地より参加者の希望を取った結果、秩父方面と決めました。各2班ずつ参加者を募りましたが人数の関係で今回は1班ずつ実施のはこびとなりました。

秩父地方日帰り旅行は、平成19年11月24日(土)実施しました。当日の参加者は、25名と少人数でしたが絶好の天気にも恵まれ見頃になった紅葉の中、酒造見学(武甲酒造)、ランチバイキン

グ、椎茸狩り、秩父祭り会館見学、長瀬ライン下りなど「紅葉も最高でした」と喜ばれ、充実した旅行となりました。

ボーリング大会は、平成19年11月30日(金)、蘇我駅近くの千葉リバーレーンで行いました。参加申込みは40名近くありましたが、緊急の仕事の都合で30名ほどの各職場混合チーム対抗戦で行われました。チーム対抗の結果は、平均スコア163を出すなど7班の圧勝に終わりました。なお、個人部門では、男子の部は指導室の高橋主任が豪華永久保存版冊子と副賞を手に入れました。

女子の部は、22病棟看護師小林さんが平均スコア156.5で優勝し、院長賞として高級ワイン、ブービー賞に管理課小作係員、アベレージ賞として同じく管理課風岡係長にも高級ワインを副院長賞として贈られました。

来年は、皆様方にもっと喜んで参加していただくよう企画いたしますのでよろしく願いいたします。

(職員係長 岡田 洋)





撮影 / 橘蓮二

12月8日、隣接する県立仁戸名特別支援学校の協力により体育館（暖房完備）を借用して、看護部看護研究委員会企画による、テレビ番組「笑点」でお馴染みの林家たい平師匠の講演会が開催されました。

玄関に迎えに行くと、大きな鞆を肩から提げた男性が1人立っていました。有名人らしからぬ気さくな風貌の師匠でした。しかし、そこはプロ。会場に到着するやいなや、プロの目線で舞台・照明・音量までテキパキと設定してしまいました。講演会では、落語家

になった動機・落語のすばらしさや修行時代から今日に至るまでの経緯を熱くユーモアたっぷりと話され、その後に落語を40分演じていただきました。クスクスからガハハまで103名の聴衆の笑い声が体育館に響きました。巧みな言葉のイメージーションからくる上質な笑いをタップリと堪能することが出来ました。期待通り、笑いが心の健康に一役買ったと思われる貴重な時間でした。

皆さん、一度は生で落語を聞きに行くことを心の健康上おすすめ致します。
（副看護部長 浅野 和子）

食のお話 ~その4~

旬の魚 ぶり

栄養管理室

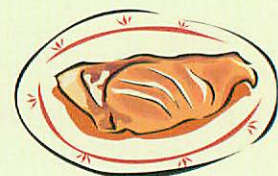
皆さんご存知のように食べ物には「旬」があり、私達は店頭に並ぶ食材を見て「〇〇がおいしい時期になったなあ」と季節を感じたりします。今では温室栽培などで、昔冬には見られなかったトマトやキュウリなども一年中売られていますし、魚も冷凍技術が発達し、年間を通して食べることが出来るものもあります。しかし旬を迎えた食材は、大量に出回り、味もよりおいしく、価格も比較的手頃になります。冬が旬の魚と言えば「ぶり」。まさに今が旬と言えるでしょう。

ぶりは脂の多い魚ですが、牛肉や豚肉の脂とは脂肪酸の種類が異なることから性質にも違いがあります。牛肉や豚肉の脂は「飽和脂肪酸」を多く含み、常温で固まる性質があります。一方、魚は低温下でも活動しなければならぬので、低温でも固まらない「不飽和脂肪酸」を多く含みます。ぶりなどの脂の多い魚は、不飽和脂肪酸の一種であるDHAやEPAを多く含みます。DHAやEPAはコレステロールや中性脂肪を下げる働きがあることから、動脈硬化や脳卒中などを予防する

ことが期待されています。また、DHAは脳内で情報伝達の役割をする神経細胞を活性化する働きがあり、判断力や集中力を高めたり、認知症の予防や改善に対する効果が期待されています。炎症やアレルギー反応を抑える働きもあると言われています。「青魚は体に良い」と言われているのはこうしたことが理由になっているようです。

最近、ぶりをしゃぶしゃぶにして食べる「ぶりしゃぶ」がはやっているようです。バランス良かったぶりの野菜とともに試してみたいはいかがでしょうか。

但し、不飽和脂肪酸は酸化されやすいため、魚は鮮度が落ちないうちに食べましょう。脂肪が多いことからエネルギーが高いので、1食60g~80g(1切れ)を目安にしましょう。また、過剰摂取は出血しやすくなるとも言われており、サプリメントは目安量を守るようにしましょう。



外 来 診 療 担 当 医 表

平成 20 年 1 月 4 日現在

		月	火	水	木	金
内科	糖尿病・内分泌 腎	西 村 小 林	祖 山 首 村	関 西村(午後予約のみ) 今 澤	西 村	
	消化器科	※	※	小 島	※	小 島
	循環器科	中里 (新患)	中 里	宮 原	中 里	宮原 (午後のみ)
	アレルギー科 (リウマチ・膠原病)	松 村	※	若 新	松 村	松 村
神 経 内 科		新 井・石 川		特殊外来 (治験) 午前中のみ	新 井・吉 山	新 井・伊 藤
呼吸器科	呼 吸 器	橋 本 川 崎 ・ 團		佐々木	佐々木 玉 置・別 宮	山 岸
	呼吸器 (第3)		佐々木 川 崎・橋 本	山 岸・ 團 玉 置・別 宮		
小 児 科		倉 山・松 村 安 齋・金 本			倉 山・松 村 安 齋・金 本	
外科	肝・胆・膵 消化管 移植	剣 持 西 郷	丸 山 坏	(手術日) (新患応需)	丸 山 岩 下	剣 持 大 月
整 形 外 科		勝 見			(午前側弯症外来) 赤 澤・大 塚	勝 見
リハビリテーション科		田 原	(手術日)	(新患応需)	(午後一般外来) 勝見・田原・赤澤	赤 澤
呼 吸 器 外 科		(新患応需)	山 川・藤 野	山 川・藤 野	(新患応需)	山 川・松 井
泌 尿 器 科		香 村	(新患応需)	(手術日)	香 村	(新患応需)
眼 科		今 井	(手術日)	今 井	今 井	今 井
形 成 外 科		千 明	大 森	千 明	(新患応需)	大 森
歯 科		大塚(義)・渋谷	大塚(義)・渋谷	大塚(義)・渋谷	摂食機能外来	大塚(義)・渋谷

診療受付時間 (初診・予約外)・・・月曜日～金曜日 午前8:30～午前11:00

※緊急の場合、内科にて受診応需。

予約変更専用電話番号 043-264-3593 受付時間 午後2:00～午後4:00

<地域医療連携室からのお知らせ>

当院の地域医療連携室では、医療機関様からのお問い合わせに対して、連携窓口として連絡調整等を行っております。お問い合わせ、ご不明な点やご意見ご要望等がございましたらご遠慮なくお知らせ下さい。

千葉東病院 地域医療連携室

TEL・FAX 043-264-3531(直通)

看護師・准看護師 大募集!!

(パートも同時募集)

詳しくは管理課給与係

TEL 043-264-3119 (担当カザオカ) まで
お問い合わせください。

平成 20 年 3 月に看護学校卒業予定の方の募集も受付中!